

マイエイジ MyAge

2020
冬号
Vol.13

に掲載

素敵女医最新治療とトピックス

MyAge世代の多くが自覚している歯茎の衰え、最新の虫歯治療、そして認知症と歯周病の関係などオーラルケアの気になるトピックスについて、歯科医に語っていただきました。

自分の歯に勝るものなし！

「最近多いと感じるのは、インプラントに関するトラブルやブリッジの問題です。インプラントで噛めない、腫れるなどのほか、ブリッジを外してみたら接触していた粘膜が潰瘍になっている、ということも。患者さん自身では到底ケアできない状態になっていて、本当に歯を残せなかったのだらうかと思います。また、体の歪みの原因にもなり得る、“噛み合わせ”が考えられていない治療ケースも多く見受けられます。一歯のみの治療でも、事前に全体の歯型をとり、咬合器につけて精査し、診療計画を立てて丁寧に説明してくれる歯科医師のもとで治療を受けることが大切です」と丹羽祐子先生は言います。

また、以前とは大きく治療法が変わってきている虫歯治療。丹羽先生の医院では、どのような診療をしているのでしょうか？

「アクアケアという機器を用いて、虫歯治療と予防をしています。虫歯に感染すると、硬いはずの歯が軟らかくなります。その部分に特殊パウダーを混ぜたアルコール入り水溶液を吹きかけると、虫歯部分のみが飛び、健全な歯質が残ります。殺菌効果もあり、再石灰化を促す別のパウダーを吹きかけることで虫歯の予防にもなります。このように私の医院では、極力歯を削らず、神経を取らない治療を心がけています」

さらに、歯茎の健康にはプラセンタが有効、と丹羽先生。

「私がおすすめるのは、口腔粘膜から直接高濃度プラセンタを吸収できるCSジェル。快眠成分であるグリシンを配合したサプリメント、プラセンタカプセルOPと併用することで質のよい睡眠がとれ、歯肉のコラーゲンを増やす相乗効果が期待できます」



【上】豚プラセンタのサプリメントはグリシン配合でよい眠りにも有効 【右】歯茎に塗るプラセンタジェル「オーラルパルドケア」

COLUMN

アルツハイマー型認知症と歯周病との深い関係とは？

「2019年、アルツハイマー病患者の脳内で、歯周病関連菌であるポルフィロモナス・ジンジバリスが確認されたという論文が発表されました。また歯周病の原因菌やその毒素が血管を通じて体内に侵入すると、アルツハイマーの症状を悪化させるアミロイドβというタンパク質が作られ、脳に蓄積することも解明されています。口腔内の菌をすべて除菌するのは困難ですが、歯周病に関与する菌と常在菌のバランスをとるには、日頃からオーラルケアをきちんとすること、天然の抗生物質である唾液の分泌をよくしておくことが大切です。サラサラした良質な唾液の分泌には自律神経がかわっているため、ストレスをためないこと、ぐっすり眠ることも、口の健康維持に有効です」



丹羽祐子さん

Yuko Niwa

57歳 歯科
橋本歯科医院

素敵女医最新治療とトピックス



口腔内のお悩みに! 簡単口腔ケア

お口から全身の健康へ

プラセンタ含有食品
プラセンタ
カプセル
OP



お召し上がり目安：1日4～6カプセル

425mg×60カプセル



歯科専売品

¥5,800 (税込 ¥6,264)

オーラルプラセンタ
医学研究会 推奨商品

※JHFA マーク取得
公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 (以下: 日健栄協) が健康食品の規格基準を設定し、消費者の皆様が安心してご利用いただける製品として認めたものにのみ表示を許可している。